

指標の意義

痛みを客観的に評価し、痛みを適切にコントロールするためのプロセス。スケールの種類は問わない。
施設基準を満たしていても、麻薬処方際に際し計画的な治療管理及び療養上必要な指導を行わなければ算定できない。

指標の定義・算出方法

- ・必要データセット：DPC様式1、E/Fファイル
- ・分子：分母のうち、定量的疼痛評価を受けた症例
- ・分母：18歳以上の、がんの診断を受け、麻薬を処方された症例（手術症例を除く）
- ・分子÷分母（単位：パーセント）

分母の定義

- I. 解析期間に退院した症例を対象とする
- II. このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。
- III. このうち、がんの診断を受けた症例。
主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

ICD-10 コード	病名
C\$	悪性新生物

- IV. このうち、麻薬を処方された症例。
E/Fファイルの薬剤情報の点数コードのいずれかに、以下のいずれかの薬価基準コードに対応するレセ電コードが含まれる症例

薬価基準コード 上7ケタ	成分名
8114003	モルヒネ塩酸塩水和物
8114004	モルヒネ硫酸塩水和物
8114005	モルヒネ塩酸塩水和物
8114401	モルヒネ塩酸塩水和物
8114402	モルヒネ塩酸塩水和物
8114700	モルヒネ塩酸塩水和物
8119002	オキシコドン塩酸塩水和物
8119400	オキシコドン塩酸塩水和物
8119500	複方オキシコドン
8219001	フェンタニルクエン酸塩
8219400	フェンタニルクエン酸塩
8219700	フェンタニル
8219701	フェンタニルクエン酸塩
8211001	ベチジン塩酸塩
8211400	ベチジン塩酸塩
8219002	メサドン塩酸塩
8219003	タペンタドール塩酸塩
8219500	ドロペリドール・フェンタニルクエン酸塩
8219501	ベチジン塩酸塩・レバロルフアン酒石酸塩
8219502	ベチジン塩酸塩・レバロルフアン酒石酸塩

- V. このうち、手術の行われた症例は除外する
様式1の手術情報1の点数コード欄にコードが記載されている症例は除外する（K920\$の入力に関しては除外対象から外す）

Ⅵ. このうち、緩和ケア病棟に入院した症例（部分的入院を含む）は除外する
E/Fファイルの診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例

レセ電コード	診療行為コード	診療行為名
190028910	A310	緩和ケア病棟入院料
190028910	A3101	緩和ケア病棟入院料（30日以内）
190150510	A3102	緩和ケア病棟入院料（31日以上60日以内）
190150610	A3103	緩和ケア病棟入院料（61日以上）
190720710	A3101	緩和ケア病棟入院料（30日以内）（栄養経過措置）
190720810	A3102	緩和ケア病棟入院料（31日以上60日以内）（栄養経過措置）
190720910	A3103	緩和ケア病棟入院料（61日以上）（栄養経過措置）

分母の定義

Ⅰ. がん性疼痛緩和指導管理料を算定された症例

E/Fファイルの診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例

レセ電コード	診療行為コード	診療行為名
113012810	B001-22-1	がん性疼痛緩和指導管理料（緩和ケアに係る研修を受けた保険医）
113010210	B001-22-2	がん性疼痛緩和指導管理料（上記以外の場合）

測定上の限界・解釈上の注意

当該管理料を算定するには疼痛の適切な評価とともに、緩和ケアに関する研修を受講した医師の配置が必要である。すなわち当該管理料の算定の有無はストラクチャーの要素に依存する。

手術が行われた患者については、手術に伴う疼痛と癌性疼痛の区別が困難なため、一律に除外した緩和ケア病棟に入院した症例は算定できないため除外した。

考察

最小値 0 25%値 0 中央値 0 75%値 31.42 最大値 77.17（外れ値100%）
回答病院 69

麻薬使用なしが18施設、麻薬使用はあるが、がん性疼痛緩和指導管理料算定なしの施設が35施設です。75%値は9%、最大値は23%上昇し、2017年水準にもどったこととなります。実施割合の高い5施設が外れ値（81%～100%）となっていますが、使用症例数は少なく3/月例以下です。緩和ケア病棟を有する17施設のうち7施設は定量評価なしです。残り10施設の実施割合は3%から88%と大きな開きがあります。半数の5施設が概ね1割以上の改善となっていますが、全体では25%の実施割合にとどまっています。緩和ケア病棟に転棟した症例は除外されるため、一般病棟にのみ入院していた患者が評価対象であることから、限られた症例である可能性もあります。一方で緩和ケア病棟のない51施設をみると、過半数の28施設ですが、定量評価を実施している23施設全体では36%です。緩和ケア病棟の有無にかかわらず、麻薬使用症例数の少ない施設で定量評価の実施割合が高い傾向がありそうです。主観的な症状を定量評価して他覚化することで、適正量にコントロールすることが可能となります。改善事例の報告はありませんが、年12例以上で5%以上上昇した施設は10施設ありました。

41：緩和ケア中がん患者の定量的疼痛評価実施割合

指標41分母：退院患者のうちオピオイドによる疼痛緩和が実施された患者数

指標41分子：がん性疼痛緩和指導管理料が算定された患者数

指標41：緩和ケア中がん患者の定量的疼痛評価実施割合

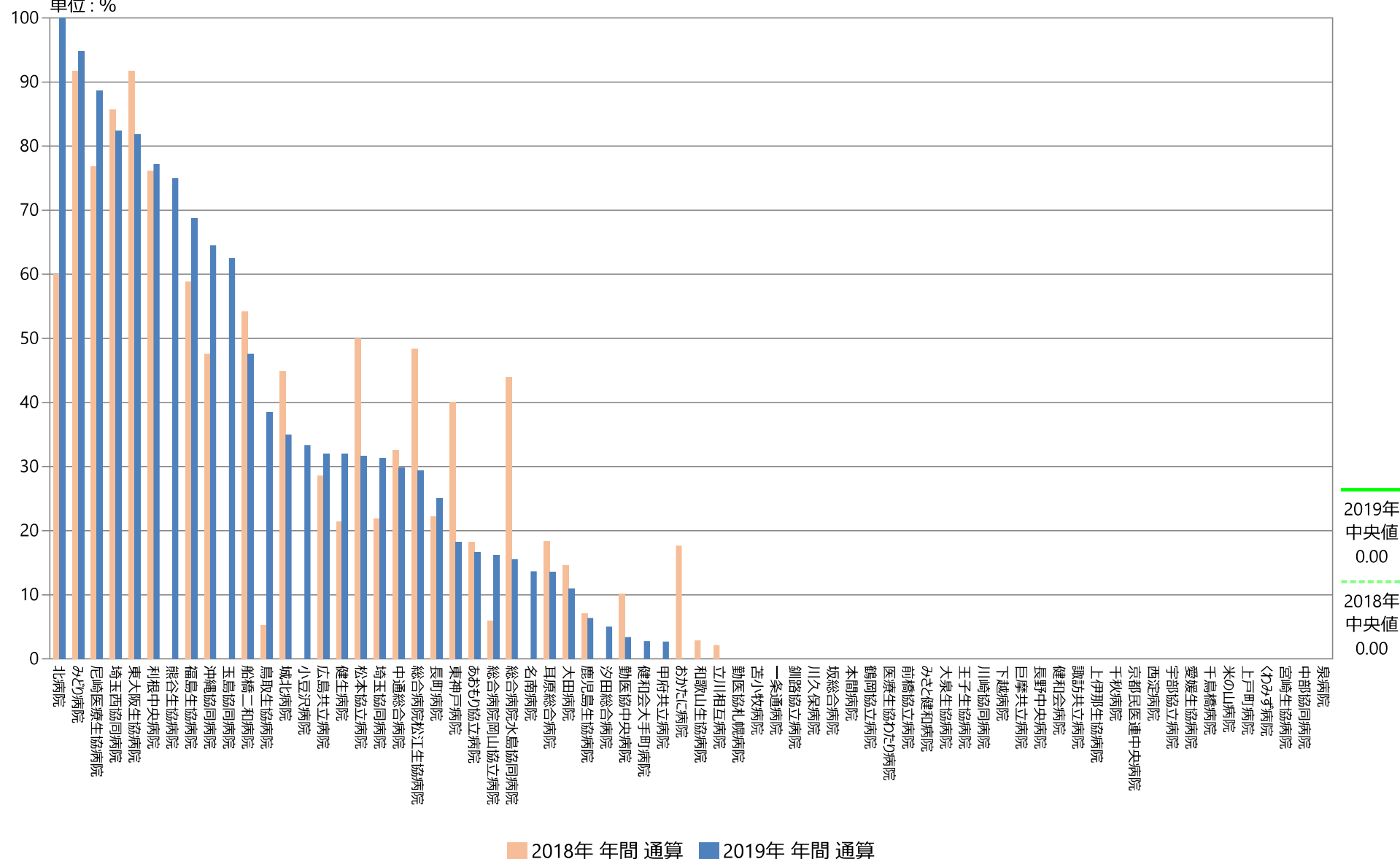
	指標41分母		指標41分子		指標41	
	件		件		%	
	2018年 年間 合計値	2019年 年間 合計値	2018年 年間 合計値	2019年 年間 合計値	2018年 年間 通算	2019年 年間 通算
勤医協中央病院	98	119	10	4	10.20	3.36
勤医協札幌病院	10	9	0	0	0.00	0.00
苫小牧病院	3	4	0	0	0.00	0.00
一栗通病院	16	21	0	0	0.00	0.00
函館桜北病院	—	—	—	—	—	—
釧路協立病院	17	18	0	0	0.00	0.00
健生病院	56	47	12	15	21.43	31.91
あおり協立病院	44	54	8	9	18.18	16.67
川久保病院	25	30	0	0	0.00	0.00
坂総合病院	336	338	0	0	0.00	0.00
長町病院	9	4	2	1	22.22	25.00
泉病院	0	1	0	0	なし	0.00
中通総合病院	163	141	53	42	32.52	29.79
本間病院	7	19	0	0	0.00	0.00
鶴岡協立病院	13	15	0	0	0.00	0.00
鶴岡協立リハ"リ"ーション病院	—	—	—	—	—	—
至誠堂総合病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
医療生協わたり病院	24	9	0	0	0.00	0.00
前橋協立病院	17	12	0	0	0.00	0.00
利根中央病院	92	92	70	71	76.09	77.17
北毛病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
埼玉協同病院	32	67	7	21	21.88	31.34
埼玉西協同病院	21	17	18	14	85.71	82.35
熊谷生協病院	1	8	0	6	0.00	75.00
秩父生協病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
千葉健生病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
船橋二和病院	72	84	39	40	54.17	47.62
柳原病院	—	—	—	—	—	—
みさと健和病院	66	49	0	0	0.00	0.00
小豆沢病院	18	27	0	9	0.00	33.33
大泉生協病院	9	2	0	0	0.00	0.00
大田病院	55	55	8	6	14.55	10.91
中野共立病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
立川相互病院	139	125	3	0	2.16	0.00
王子生協病院	8	20	0	0	0.00	0.00
川崎協同病院	18	30	0	0	0.00	0.00
汐田総合病院	23	20	0	1	0.00	5.00
下越病院	164	172	0	0	0.00	0.00
富山協立病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
城北病院	49	20	22	7	44.90	35.00
甲府共立病院	55	37	0	1	0.00	2.70
巨摩共立病院	11	20	0	0	0.00	0.00
石和共立病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
長野中央病院	32	35	0	0	0.00	0.00
健和会病院	24	21	0	0	0.00	0.00
諏訪共立病院	7	3	0	0	0.00	0.00
松本協立病院	94	79	47	25	50.00	31.65
塩尻協立病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
上伊那生協病院	7	10	0	0	0.00	0.00
みどりの病院	12	19	11	18	91.67	94.74
三島共立病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
協立総合病院	—	—	—	—	—	—
北病院	5	2	3	2	60.00	100.00
名南病院	28	22	0	3	0.00	13.64
名南ふれあい病院	—	—	—	—	—	—
千秋病院	31	18	0	0	0.00	0.00
津生協病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
京都民医連あすかい病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
京都民医連中央病院	49	42	0	0	0.00	0.00
東大阪生協病院	12	11	11	9	91.67	81.82
西淀病院	33	23	0	0	0.00	0.00
耳原総合病院	49	74	9	10	18.37	13.51
コープおおさか病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
東神戸病院	5	11	2	2	40.00	18.18
尼崎医療生協病院	56	35	43	31	76.79	88.57
おかたに病院	17	23	3	0	17.65	0.00
土庫病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
和歌山生協病院	35	21	1	0	2.86	0.00
鳥取生協病院	19	39	1	15	5.26	38.46
総合病院松江生協病院	60	34	29	10	48.33	29.41
出雲市民病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
総合病院水島協同病院	41	45	18	7	43.90	15.56
玉島協同病院	15	8	0	5	0.00	62.50
総合病院岡山協立病院	34	31	2	5	5.88	16.13
福島生協病院	17	32	10	22	58.82	68.75
広島共立病院	21	25	6	8	28.57	32.00
宇部協立病院	12	10	0	0	0.00	0.00
徳島健生病院	—	—	—	—	—	—
高松平和病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
愛媛生協病院	1	5	0	0	0.00	0.00
高知生協病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
健和会大手町病院	26	36	0	1	0.00	2.78
千鳥橋病院	64	71	0	0	0.00	0.00
たたらリハ"リ"ーション病院	—	—	—	—	—	—
米の山病院	18	13	0	0	0.00	0.00
みさき病院	—	—	—	—	—	—
上戸町病院	13	9	0	0	0.00	0.00
くわみず病院	3	5	0	0	0.00	0.00
大分健生病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
宮崎生協病院	33	22	0	0	0.00	0.00
鹿児島生協病院	85	63	6	4	7.06	6.35
国分生協病院	—	—	—	—	—	—
沖縄協同病院	42	62	20	40	47.62	64.52
中部協同病院	2	3	0	0	0.00	0.00
とよみ生協病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
最大値(外れ値を除く)	98.00	92.00	20.00	18.00	54.17	77.17
75%値	49.00	45.50	8.00	8.25	22.05	31.42
中央値	23.50	22.00	0.00	0.00	0.00	0.00
25%値	12.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00
最小値(外れ値を除く)	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00

指標41：緩和ケア中がん患者の定量的疼痛評価実施割合

指標41分母：退院患者のうちオピオイドによる疼痛緩和が実施された患者数

指標41分子：がん性疼痛緩和指導管理料が算定された患者数

単位：％

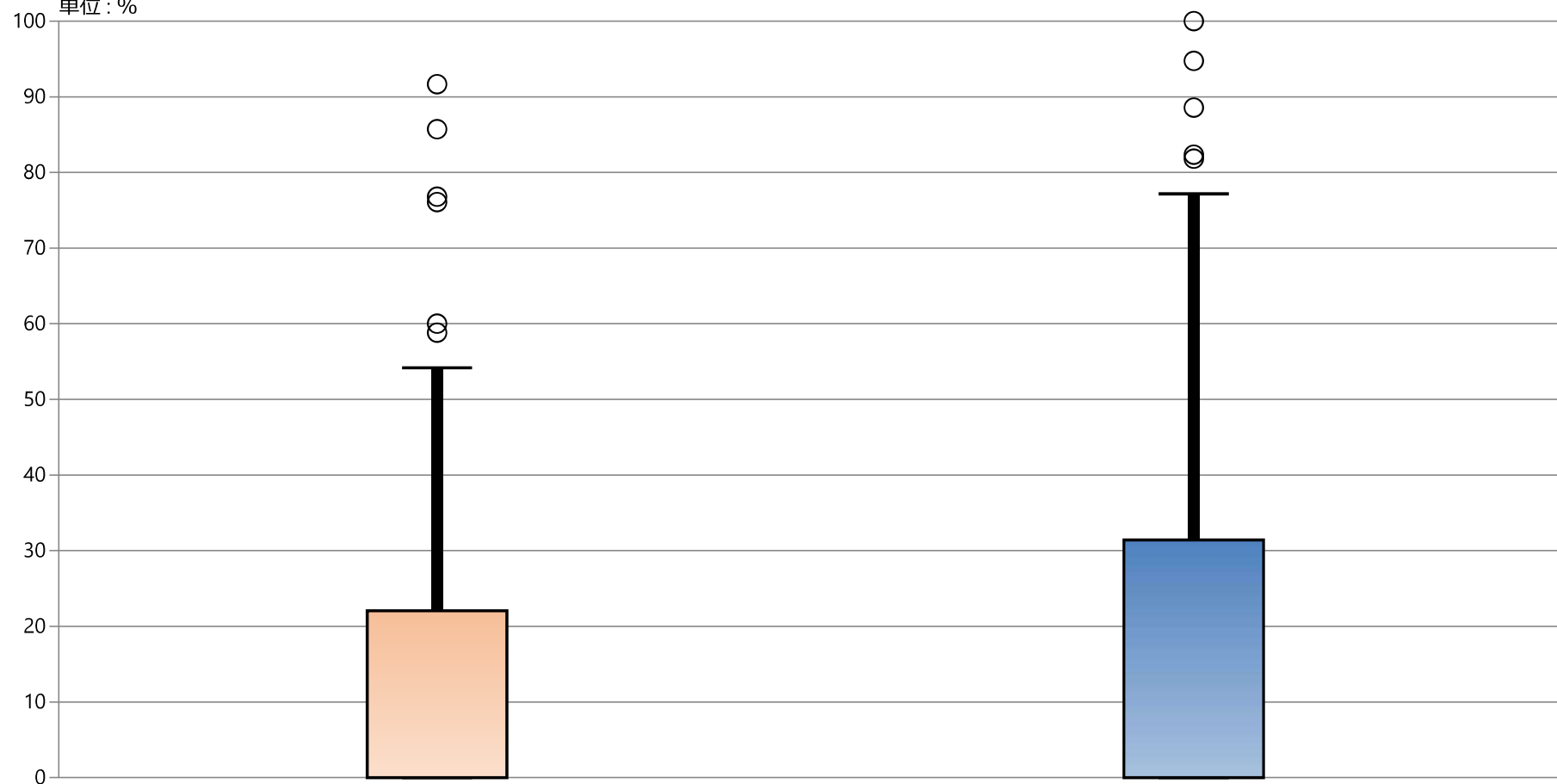


指標41：緩和ケア中がん患者の定量的疼痛評価実施割合

指標41分母：退院患者のうちオピオイドによる疼痛緩和が実施された患者数

指標41分子：がん性疼痛緩和指導管理料が算定された患者数

単位：%



* 外れ値を除く

	2018年 年間 通算	2019年 年間 通算
最大値*	54.17	77.17
75%値	22.05	31.42
中央値	0.00	0.00
25%値	0.00	0.00
最小値*	0.00	0.00